内容解説資料

|  |
| --- |
| 教科書の観点別内容と特色 |
| 観点 | 特色 | 具体的箇所 |
| Ⅰ　内容の選択 |
| １．教育基本法第二条に照らし合わせて適切な内容か。 |
| 　 | 教育基本法第二条第一号から第五号までの各号の目標を達成するように構成している。特に、第三号「自他の敬愛と協力を重んずる」、第五号「伝統と文化を尊重」「他国を尊重」する態度を養うことを重視している。 | 全教材 |
| ２．学習指導要領の目標・内容と照らし合わせて適切な内容か |
| (1)英語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせる学びの工夫があるか | ●社会や世界との関わりの中で事象を捉える仮想のクラスを用いて,教科書を通して一つの世界観を作っており,SceneやLet's Listenでは,イラストを見ながら聞く活動を行うことで,その世界との関わりの中で事象を捉え,表現や語彙を理解できるように工夫している。●相手や他者に十分配慮する児童が相手や他者に配慮することができるように，そのモデルとなる教科書では，お互いの意見や思いを肯定的に受け止め，相手や他者に配慮する世界観を作っている。●多様な人々との対話するアクティビティ⑤では，異文化や他教科に関する教材を扱っており，多様な国や職業が登場する。●英語やそれらの背景にある文化を理解するコラムでは,英語やその背景にある文化を楽しく理解できるように工夫している。●既習のものを含めて習得した概念（知識）を相互に関連付けてより深く理解するWord CornerやWord Listでは，カテゴリーごとに語彙を提示することで，語彙を相互に関連付けてより深く理解できるよう工夫している。また，canとbe good at ~ingのように似た表現は連続して配列することで，児童がより深く理解できるように配慮している。●課題を見いだして解決策を考えるLet's Listenの聞き取る内容には，目標表現を複数回入れ，児童の目標表現への気付きを促す工夫をしている。また，文章を表す際には，文頭の位置を揃えることで，語順や語彙への気付きを促す工夫をしている。●身につけたい思考力を発揮させる1 つのレッスンでは、1 テーマに応じた題材から特定の目標表現を設定。その目標表現を中心に学習する内容としている。十分なインプットを経た上でアウトプットをする活動を段階的に設け、自らの発信が無理なく行えるよう構成している。その後毎レッスン末のUse & Checkや，年に２回のProject Timeでは，今までに学んだことを生かした活動を行うことができるよう工夫している。 | 5年L.1　Scene6年L.1 コラム6年L.2 コラム |
| (2)育成を目指す資質・能力の三つの柱の内容及び相互の関係は適切か。 | 〔知識及び技能〕・（１）アからエまでの全てを網羅し、実際に英語を用いた言語活動を通して目標を達成し、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができるように構成している。・特に「ア　音声」に関しては、英語の音への気付きを促すページを設けるとともに、歌、チャンツでも、（ア）現代の標準的な発音、（イ）連結による音の変化、（ウ）基本的な強勢、（エ）基本的なイントネーション、（オ）基本的な区切り、への気付きを促す工夫をしている。・「イ　文字及び符号」に関しては、聞く活動や読む活動で多くのインプットを得た後、明示的に説明するページを設けている。・「ウ　語，連語及び慣用表現」に関しては，第３学年及び第４学年において取り扱った語を繰り返し学習する構成としている。〔思考力，判断力，表現力等〕・（２）（３）の全てを網羅し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、英語で表現したり、伝え合ったりできる構成としている。・特に（２）イに関しては、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読んだり、書いたりするように工夫している。 | 5年 Pre-Lessonほか全教材5年L.1 Use&Checkほか各レッスン5年L.8B(食事)・6年L.6B(道案内)など6年L.4C(推測して読む)・6年p.102(語順を意識する)など |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 観点 | 特色 | 具体的箇所 |
| (3)４技能５領域の内容及びバランスは適切か。 | ●五つの領域別の目標と内容との関係レッスン扉でレッスンの目標を示すとともに，アクティビティには「聞く」「聞いて繰り返す」「話す（やり取り）」「話す（発表）」「読む」「書く」のアイコンで明確に示している。●4技能における工夫４技能をバランスよく身に付けることができるよう，５年生Lesson1から４技能5領域を用いたアクティビティを扱っている。〈聞くこと〉イラスト等の視覚情報や知っている語彙や表現から推測しながら理解しようとする姿勢を身に付けるよう，イラストやスクリプトを工夫している。〈読むこと〉十分に聞いたり話したりした表現を視覚情報を伴って読むことで，推測しながら読むことができるように配慮している。〈話すこと〉Sceneのイラストを用いたSmall Talkや，やりとりや発表のアクティビティを通して，児童自身が持っている知識で伝えようとする姿勢を身に付けられるよう工夫している。また，「やりとり」と「発表」の２領域を身に付けることができるよう，アクティビティの内容を工夫している。〈書くこと〉アルファベットの形や位置に注意を促す活動をとり入れたり，なぞり書き，写し書きのステップを踏むなどして，児童が書くことへの意欲を持てるよう工夫している。●読むこと、書くことに慣れ親しむ第５学年Lesson1から読み書きのアクティビティをとり入れており，段階を追った活動にすることで，児童が無理なく取り組むことができるよう配慮している。また，Alphabet Cornerを年10回設けており，アルファベットの読み書きに関しては定着できるよう配慮している。●語順を意識しながら書く写し書きは上から下に写すことを基本とし，語順に意識できるように配慮している。また，６年のLesson7の後には，語順について考えるページを設けてあり，児童の学びを深めるよう配慮している。 | 5年p.5(6個のアイコン)6年L.1（レッスンの目標）など全教材6年L1A④など全教材6年p.102（言葉の順序や決まりを考えてみよう）など |
| (4)言語活動と効果的に関連付けて言語材料を身に付けるよう配慮されているか。 | ●文や文構造の指導は，言語活動と効果的に関連付けている文を表示する際には，文頭を揃えることで，視覚的に同じ語彙や表現や語順への気付きを促すように配慮している。また，音声で十分に慣れ親しんでから読んだり書いたりする活動に入ることで，文構造のまとまりを意識できるように配慮している。 | 5年L1　Shaggy's Story など |
| (5)言語の使用場面、言語の働きを適切に取り入れているか。また、コミュニケーションを行う目的、場面、状況等を適切に設定しているか。 | ●コミュニケーションを行う目的、場面、状況などの明確な設定やりとりや発表のアクティビティでは，活動を行う目的を示し，児童が話したり聞いたりしたいと思えるように工夫している。 | 5年L.3A③など全教材 |
| (6)実際に英語を使用して考えや気持ちを伝え合う言語活動が中心となっているか。また，その際に必要な言語材料に対する配慮があるか。 | ●当てはまるもののみ文で繰り返す単語をただ繰り返す練習にならないよう，「自分に当てはまるものだけ繰り返す」「その人になり切って繰り返す」指示をし，言語活動につながるよう配慮している。●言語を使いながら理解先に意味を習ってから言語を使うのではなく，言語を使いながら意味や文構造を理解していく構成にしており，言語活動が中心となるように配慮している。●言語活動を行う前の指導やり取りのアクティビティの前には，聞くアクティビティや聞いて，自分に当てはまるものだけを繰り返して言うアクティビティを十分に行える配列にしてあり，無理なく指導できるように配慮している。 | 5年L１A②など全教材5年L１A②など |
| (7)児童の「主体的・対話的で深い学び」の実現を図るための工夫は適切か。 | 主体的な学びを促すために，児童自身が学習の見通しを持ち、視覚情報や場面から推測して聞いたり読んだりしたり、気持ちを伝えるために話したり書いたりできるように工夫している。対話的な学びを促すために，児童どうしや教師とのやりとりを通して、気付きを促し、理解が深まるように工夫している。深い学びを促すために，上記の主体的で対話的な学びを通して学習した表現や語彙などが、今までに英語や他教科、日常生活の中で学んだ知識などが結びつき、学びが深まるように工夫している。 | 5年L1C ⑤など |
| (8)音声と文字を適切に関連付けているか。また，音声，文や文構造等について，日本語との違いに留意させる工夫をとり入れているか。 | ●音声指導5年生の最初に日本語と英語の違いへの気付きを促すページを設けるとともに，読む活動ではまず，音声に合わせて指で追う活動を行うことで音声と文字が関連付くように配慮している。また，Sounds & Lettersでは，アルファベットの音への気付きを促すように工夫している。 | 5年p155年L.7A④など |
| 観点 | 特色 | 具体的箇所 |
| (9)我が国の文化や，英語やその背景にある文化に対する関心を高め，理解を深めようとする態度の育成に資する教材が選ばれているか。 | ●世界や日本に関する題材〈多様な考え方・公正な判断力・豊かな心情〉コラムでは，世界の文化や風習，その背景にある思いに触れ，児童が多様な考え方に気付き，豊かな心情が育つように配慮している。〈我が国の文化や英語の背景に対する文化〉伝統文化交流会やイタリアからの児童との交流会を通して，日本の伝統文化への関心を高め，理解を深められるように配慮している。また，コラムでは様々な国の紹介をしており，児童の関心が高まるように工夫している。〈国際理解を深める・我が国の一員としての自覚を高める・国際協調の精神を養う〉登場するクラスメイトの中に，外国に由来する児童が４名登場し，クラスに自然に溶け込んでいることで，国際理解をより身近に感じさせる工夫をしている。また，６年生の裏見返しは，学んだことを使って日本を紹介するコーナーとなっており，レッスンでも季節感や伝統文化を意識した場面を多くとり入れることで，英語で日本のことを紹介できるように工夫をしている。 | 5年L7コラムなど6年L.1　Sceneなど6年L.1A②など6年裏見返し |
| (10)実生活，地域・社会との関連が図られているか。また，他教科の学習との関連が図られているか。また，道徳教育との連携が図られているか。 | ●題材の工夫２冊を通じて，児童にとって身近で簡単な事柄を扱っており，学校や地域の行事の話題も掲載している。●他教科の学習との関連セクションB,Cのアクティビティ⑤では，他教科や異文化に関連する内容を扱っており，児童の興味・関心に合ったものとなるよう工夫している。●道徳教育との関連・日本や外国の文化に触れることで、伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度と国際理解、国際親善の意識を持つことができるようにしている。・様々な職業を扱うことで、勤労、公共の精神を養っている。・謝罪や感謝を伝える言葉をスクリプト中に丁寧に入れることで、感謝、礼儀の心を養っている。・夏休みに出かけた場所や自分たちの地域を紹介することで、自然愛や郷土愛に気付くことができる。・将来の夢、好きなことや得意なことなど、男女のステレオタイプが生じないように工夫している。・相手や他者へ配慮しながら、コミュニケーションとしてやりとりを行うことで、友情、信頼、相互理解が深まる。 | 5年L.6 Sceneなど5年L.8B⑤など6年L.4B⑤など |
| Ⅱ　構成・分量・配列 |
| (1)第３学年及び４学年並びに中学校における指導との接続に留意しているか。 | ●第３学年及び４学年との接続Book1のPre-lessonでは，３，４年生で学習した表現をまとめて復習できるように工夫してある。また，レッスン中でも，３，４年生で学習した表現を繰り返し学習できるように工夫してある。●中学校との接続レッスンの歌の中で，中学校で学習する文法もフレーズで覚えることができ，中学校での文法的な理解に役立つように配慮している。また，６年生Lesson10では，中学校生活について扱っており，コラムでは中学校修了時の姿を示し，学習意欲を高める工夫をしている。 | 5年ｐ.17など6年p135下（If you're happy)など |
| (2)単元など内容や時間のまとまりを見通した構成になっているか。 | Sceneのイラストで場面を表しており，その場面で使われている表現をまとめて学習する構成になっている。 | 5年L.1 Sceneほか全教材 |
| (3)２年間を通じて目標の実現が図られるよう構成されているか。 | 第５学年は，より多くのインプットのアクティビティをとり入れ，外国のことを知ることを目標とし，第６学年は，第５学年と比べアウトプットの機会を増やし，日本のことを発信することを目標としている。その目標に応じた表紙イラストとなっており，各セクションの目標表現もそれに準じている。 | 全教材 |
| (4)学習内容を繰り返し扱い，定着を図る工夫がなされているか。 | ●第３学年及び４学年において扱った学習内容の繰り返しの指導による定着Pre-Lessonで総復習するだけでなく，Lessonの中でも語句や表現を繰り返し指導するように工夫している。●第５学年，第６学年内での繰り返しの指導による定着同学年間で語彙や表現を繰り返し学習したり，第５学年で学習した語彙や表現を第６学年で学習したりして，語彙や表現が定着するよう工夫している。 | 5年L.8A　目標文など5年L.1Cと６年L.2Cの目標文など |
| (5)１単位時間当たりの学習の分量は適切か。また，短時間学習に対応する構成になっているか。 | １つの活動を15分で行う構成にしており，適切な分量であるとともに，各学校が実態に応じて柔軟に対応できるように配慮している。また，レッスンの扉ページの「学習の進め方」にも15分ごとの活動を示してある。 | 5年L.1　学習の進め方ほか全教材 |
| (6)平易なものから難しいものへと段階的に学習が配列されているか。 | 語彙、表現ともに３、４年生で慣れ親しみ、日本語になっているものなどの理解しやすいものから入り、段階的に難しいものにするように工夫している。特に、目標表現の中で複数種の単語を置き換えて表現するセクション（（5 年L.3A）I have science on Mondays. − （5 年L.5A）I go cycling at six. など）は、その前に語彙を導入しておき、児童の負担が軽くなるように配慮している。 | 5年L.1A②と5年L.3A①など |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 観点 | 特色 | 具体的箇所 |
| (7)児童が学習の見通しを立てたり，振り返ったりすることができるよう工夫されているか。 | レッスン扉のレッスンの目標と学習の進め方，セクションごとに明示されている目標表現で，児童が見通しを立てられるよう配慮している。また，レッスン末のCheck Timeで児童が自分の学びを振り返ることができるように工夫している。 | 5年L.1レッスンの目標とCheck Timeなど |
| (8)身近なことについて伝え合うために，ペア・ワーク，グループ・ワーク等の学習形態が適宜工夫されているか。 | セクション内のやり取りもしくは発表の活動ではペア・ワークを基本としており，レッスン末のUse & Checkや年２回のProject Timeでは，グループ・ワークを行うことを想定している。どちらも，クラスの実態に応じて柔軟に対応できるように工夫している。 | 5年L.1B③など5年L.1 Use & Check ③など |
| (9)学習評価への対応が図られているか。 | ●Use & Check各レッスンの本課活動の後に、レッスンのまとめとして活動し、児童の理解度を測ることができる。●Check Time各レッスン末で、学習指導要領の三つの柱に沿った項目に応じて、児童が自己評価を行うことができる。●Project Time年に２回，発表の活動を行う。今までに学習した表現や語彙を使った発表となるため，児童の理解度を測ることができる。 | 6年L.1 Use & Check6年p.78など |
| Ⅲ　文字・印刷・造本等 |
| (1)使用されている文字は適切か。 | 英文字は英語学習入門期でも文字の認識がしやすい書体を使用し、4 線の縦幅は、文字が書きやすく、中学校への接続もスムーズな5:6:5 のものを使用している。 | 5年L.1A④など全教材 |
| (2)ユニバーサル・デザインへの配慮はあるか。 | ・カラーユニバーサルデザインの観点から，全ページにわたり配色とデザインに十分な配慮をしている。・学年配当漢字や上位学年配当漢字には全てルビを付け、日本語表記に関しても児童の読みやすさを優先した構成になっている。 | 全教材 |
| (3)印刷・製本上の工夫はあるか。 | ●印刷・環境への配慮から，再生紙，植物油インキを用いている。・印刷は鮮明であり，読みやすい色調となっている。●用紙・製本・軽量で書き込みやすい用紙を用いている。・製本は針金を使わない綴じ方を採用し，ノドが大きく開くので紙面をより広く使ったレイアウトになっている。また，針金を使っていないが製本は堅牢である。 | 全教材 |
| Ⅳ　その他 |
| (1)二次元コードの利用 | QR コードによりタブレット等で、クラスルーム・イングリッシュ、あいさつをしましょう、各目標表現、裏表紙の裏の表現を聞くことができる。目標表現が定着しやすいよう工夫をしている。 | クラスルーム・イングリッシュ，あいさつをしましょう，各セクション目標表現，裏見返し（第５学年年，第６学年） |
| (2)指導者用デジタル教科書（教材）との連携 | ・リスニング音声全てと，デジタル教科書オリジナルの音声が収録されている。・Shaggy's Storyや文章を読むアクティビティでは，カラオケ読みにも対応している。 | 全教材 |
| (3)東京オリンピック・パラリンピックへの対応 | 巻末のWord Listと，第6学年のWord Cornerではオリンピック競技について扱っている。 | 5年p.146・147、6年p.142・143Word List（オリンピック・パラリンピック）6年p.39（Word Corner1） |

本資料は教科書発行者行動規範に則っており、配布を許可されているものです。　　**学校図書株式会社**